

# 学校の沿革

明治 8年 6月 1日	榊原小学校、谷杣学校創設
明治 22年 10月 17日	榊原尋常小学校設立(創立記念日)
明治 44年 7月 6日	谷杣学校廃止
大正 15年 7月	榊原青年学校併設
昭和 13年 5月 13日	木造新校舎・講堂落成
昭和 16年 4月 1日	榊原国民学校と改称
昭和 22年 4月 1日	榊原村立榊原小学校と改称
昭和 30年 3月 1日	久居町立榊原小学校と改称
昭和 32年 2月	新校歌制定
昭和 38年 8月 11日	プール完成
昭和 44年 3月	岩石園完成
昭和 45年 8月 1日	久居市立榊原小学校と改称
昭和 50年 11月 3日	学校創立百周年記念式典
昭和 57年 3月 27日	現校舎落成
昭和 61年 2月 10日	屋内運動場落成
平成 5年 3月	正門完成
平成 9年 3月	運動場北側法面工事完成
平成 12年 2月	運動場北端に鳥小屋完成
平成 12年 8月	運動場暗渠排水工事完成
平成 12年 10月	コンピュータ室完成
平成 13年 4月	体育用砂場、遊戯用砂場完成
平成 14年 6月	プール内部及び周辺修理
平成 18年 1月	市町村合併により 津市立榊原小学校と改称
平成 20年 8月	浄化槽修理

## 児童・地域の実態と概要

伊勢湾を望む布引山系の麓、津市久居地区の最西部に位置する榊原は、のどかな山野に囲まれた自然の佇まいの中に民家が散在する。温泉の町としても知られ、地域は徐々に変化しつつも、今も昔と変わらぬ風情を醸し出している。

本校はかつては400人以上の児童が在籍していた時代もあったが、現在57人と年々減少してきている。ほとんどの家庭は三世代同居で、両親が市の中心部等に働きに出かけ、祖父母のもとへ下校していく子どもが多い。

少人数であるため、子どもたちは自分の思いを積極的に表現したり、お互いに切磋琢磨したりする機会が少なく、コミュニケーション能力や自ら課題を発見し解決する力、困難なことや苦手なことを乗り越えるたくましさや身につけることが必要だと思われる。そこで本校では、自分で考えて行動し、課題を乗り越えるために努力する児童の姿を目指している。児童一人一人は純粋で人懐っこく活気もあり、地域や集団生活の中で感謝の気持ちや相手を思いやる心が育ちつつある。さらには、お互いに認め合い支え合う仲間意識の伸長へと発展させていきたい。

明治8年の榊原小学校創設以来140年以上の永き歴史の中に、輝かしい文化・伝統・校風は脈々と受け継がれ、児童の地域学習に関しても多大な協力をいただいている。

## 学校経営の改革方針

### 教育目標

**心豊かで、確かな学力をもち、心身ともに健やかな子どもの育成**

### めざす学校像

- 共に学び高め合いながら、一人一人の子どもが生き生きと輝く学校
  - 地域の教育力を活用し、創造性豊かで活力のある学校
  - 安全・安心で、保護者や地域に開かれた信頼される学校
- 本年度の行動計画**
- 確かな学力の定着と体力の向上

- 少人数によるきめ細かな学習指導による基礎的・基本的な知識理解・技能の習得に努める。
- 知識・技能を活用する学習活動の充実による思考力・判断力・表現力の育成に努める。
- わかる楽しい授業の実践や「ばらっこタイム」の活用などを通して集中力や意欲の向上に努める。
- 繰り返し学習や学習相談日の実施などにより、基礎学力の定着やつまずきの発見に努める。
- 自主学習ノートやノーメチャレンジャーなどの活用により、家庭学習の時間の確保と質の向上に努める。
- 授業時数の確保を図り、全教員が研究授業を年1回以上行う。
- 全学年で新体力テストを実施し、結果分析を基に体育の授業や体育的行事を見直し、体力の向上に努める。

### (2) 人権尊重の精神の育成

- 仲間作りや人との出会いを通し差別を許さない態度を育成する。
- 人権集会を開催し学習の成果を交流して人権意識の高揚を図る。
- 人権講演会を開催し、保護者・地域住民への啓発活動を行う。
- コミュニケーション能力・課題解決力の育成
- 一人一人の可能性を伸ばし、自信と意欲を持たせる
- 自分の課題を乗り越えさせる教育活動を進める。
- 特別支援教育の推進体制を充実させ、一人一人のニーズに応じた適切な支援を行う。

- 校内研修を充実させ、一人一人の子どもの課題の分析と克服に向けた手だてを検討し、成果を検証する。

### (5) 基本的な生活習慣や社会の規範意識の定着

- 安全・安心で保護者や地域に開かれた信頼される学校づくり
- 地震・火事等の災害を想定した避難訓練の実施をする。
- 安全点検の実施と必要に応じた修理・改善を行う。
- 学校だよりを月1回以上発行し、学校開放デーを毎月実施する。
- 地域に対する誇りと愛着の育成
- 地域コーデイネーターをもつ人材ネットワークSAKAKIBARAの教育力と地域力を活用しながら、地域の人との出会いや交流を深め、地域の自然や歴史、人との関わりについての学習を深める。

### (8) 学校経営の改善の継続的な取組

- 学校経営品質向上活動の取り組みと学校経営の改善に取り組む。
- 学校自己評価・学校関係者評価を実施し、PDCAサイクルによる継続的な改善を行う。

### (9) 学級経営方針による年間を見通した実践を行う。

- 教職員が働きやすい環境づくりの取組
- 各自で定時退校日(曜日)を定め、過重労働時間を縮減しメリハリのきいた勤務を目指す。

## 日課表

	月	火	水	木	金
8:20～8:30	ばらっこタイム(職員打ち合わせ)				
8:30～8:45	朝の会・朝の学習				
8:45～9:30	第1限				
9:35～10:20	第2限				
10:40～11:25	第3限				
11:30～12:15	第4限				
12:15～12:50	給食				
12:50～13:20	休憩	13:10～13:55			休憩
13:20～13:35	清掃	第5限			清掃
13:40～14:25	第5限		13:55～14:00		第5限
14:30～15:15	第6限		帰りの会		6限
15:15～15:25	帰りの会		14:10		帰りの会

一斉下校  
職員研修  
職員会議

14:50～15:00  
地区学習会  
委員会がが

### 在籍児童数及びP数(4月1日現在)

	男	女	計	P会員数
1年	1	6	7	1
2年	5	2	7	4
3年	4	5	9	3
4年	5	2	7	6
5年	6	6	12	11
6年	7	6	13	12
支援学級	1	1	2	1
合計	29	28	57	38

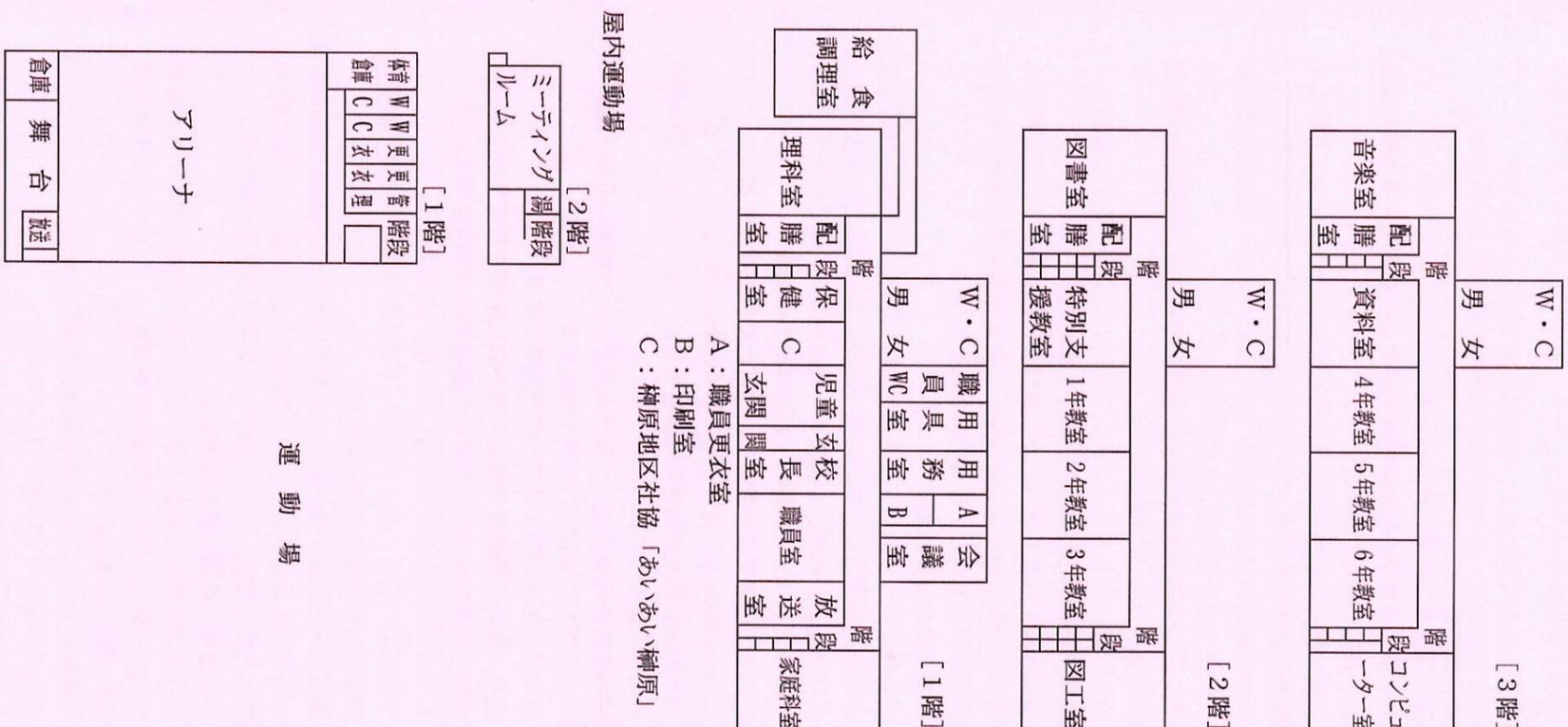
### 職員組織

役職	氏名	所属	備考	氏名	所属	備考
校長	杉野 充孝	養護教諭		平松 博美		
教頭	濱口フキ子	栄養補助員		前田 好美		
教諭	1年 明石 佑太	事務補助員		山内 典子		
教諭	2年 和田 聡子	用務員		加藤 京子		
教諭	3年 赤塚 直子	調理員		上園さおり		
教諭	4年 森田 直樹	調理員		篠田佐奈美		
教諭	5年 黒宮 寛規	講師(市)		森本 美子		
教諭	6年 川島 優子	講師(市)		近藤 裕子		
教諭	特別支援 米川 典子	講師(市)		中村 清加		
教諭	特別支援 藤木 央雄	講師(市)		馬場かおり		

# 年間計画

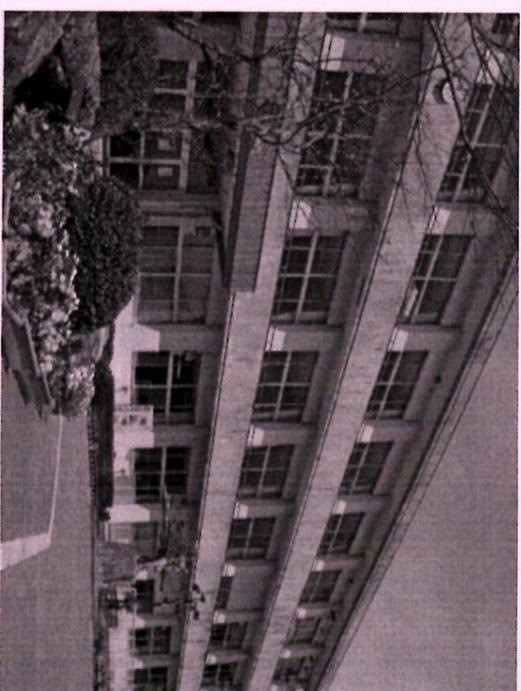
月	主な内容
4	着任式 始業式 入学式 授業参観 学級懇談会 年間計画立案 各種検診・測定 避難訓練 家庭訪問
5	1年生を迎える会(遠足) 修学旅行 各種検診・検査 4年社会見学 自由参観 PTA廃品回収・奉仕作業
6	プール開き・水泳指導 地区懇談会 幼小交流 給食試食会 自由参観 あいあい榊原との交流会 3年社会見学 5年デイトキャンゾ 心肺蘇生法講習会
7	小小交流 大掃除 終業式 個別懇談会 学習相談日 PTA心肺蘇生法講習会 PTA廃品回収・奉仕作業
8	PTA廃品回収・奉仕作業 学習相談日
9	始業式 親子防災教室 運動会 身体測定
10	祖父母参観 全校遠足 3年社会見学 4年社会見学 5年社会見学
11	授業参観 PTA人権講演会 学級懇談会 やきいも集会 芸術鑑賞 3年社会見学 幼小交流
12	人権集会 小中交流 大掃除 終業式 個別懇談会 学習相談日 PTA廃品回収
1	始業式 書き初め大会 幼小交流 給食カルタ会 避難訓練 身体測定 学校保健委員会
2	授業参観 学級懇談会 入学説明会 地区学発表会 3年社会見学 保幼小交流 小小交流 6年生を送る会 たてわり班給食 小中交流 大掃除 卒業式 修了式
3	学校関係者評価委員会

校舎平面図



平成29年度

# 学校要覧



## 校歌

一 大きい空と布引が  
いも恋からよんでいる  
二 昔かたりもなつかしい  
ななくりの湯は なたたかく  
あふれる健康 榊原  
つよくだゆます やりぬく意気も  
胸にわきたつ 元気なわれら  
三 松にさくらに來る鳥が  
きよつもなかくよんでいる  
たゆまぬ勉強 榊原  
力集めて 秋にはたわむ  
稲穂のようにみろつわれら

下総 承夫 作詞  
腕一 作曲

## 津市立榊原小学校

〒514-1251  
三重県津市榊原町5848  
TEL. 059(252)0011  
FAX. 059(252)2491